

◎ 彙報

第一二回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇四年九月一日(土) 一四時より
- 会場 大分県立芸術文化短期大学 人文棟二階 会議室
- 研究発表

原爆児童文学のアクチュアリティー

木村 功

被爆者・ろうあ者・言語

長野 秀樹

第一四回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇五年四月二日(土) 一三時より
- 会場 プラザホテル寿(山口市湯田温泉三三三-一三)
- 研究発表

原口喜久也——原爆詩人の生成

中原 豊

原爆と万博と文学

波瀾 剛

第一三回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇四年二月一八日(土) 一三時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一号室
- 研究発表

原爆とエロス「生の衝動」

——川上宗薫の自伝的小説をめぐって

石川 巧

平和運動の描かれ方

——〈原爆文学〉の中で——

内田 友子

第一五回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇五年七月一六日(土) 一三時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一教室
- 研究発表

心象風景としての被爆都市

中野 和典

峠三吉の詩

——目取真俊「水滴」と戦争詩を補助線として——

野坂 昭雄